



報道発表

令和 8 年 8 月 5 日
関東財務局前橋財務事務所

群馬県内の地方公共団体に対する 財政融資資金の貸付状況について

令和 7（2025）年度に群馬県内の地方公共団体へ貸し付けた財政融資資金地方資金の額は、299 億円となり、前年度と比較して 26 億円、8.0%の減少となりました。

また、令和 7（2025）年度末の貸付残高は、5,495 億円となり、前年度と比較して 284 億円、4.9%の減少となりました。

財務局では、地方公共団体が学校、病院などの建設や上下水道、廃棄物処理施設などの生活関連施設を整備するときに、財政融資資金を貸し付け、豊かで住み良い社会環境づくりに協力しています。

照会先

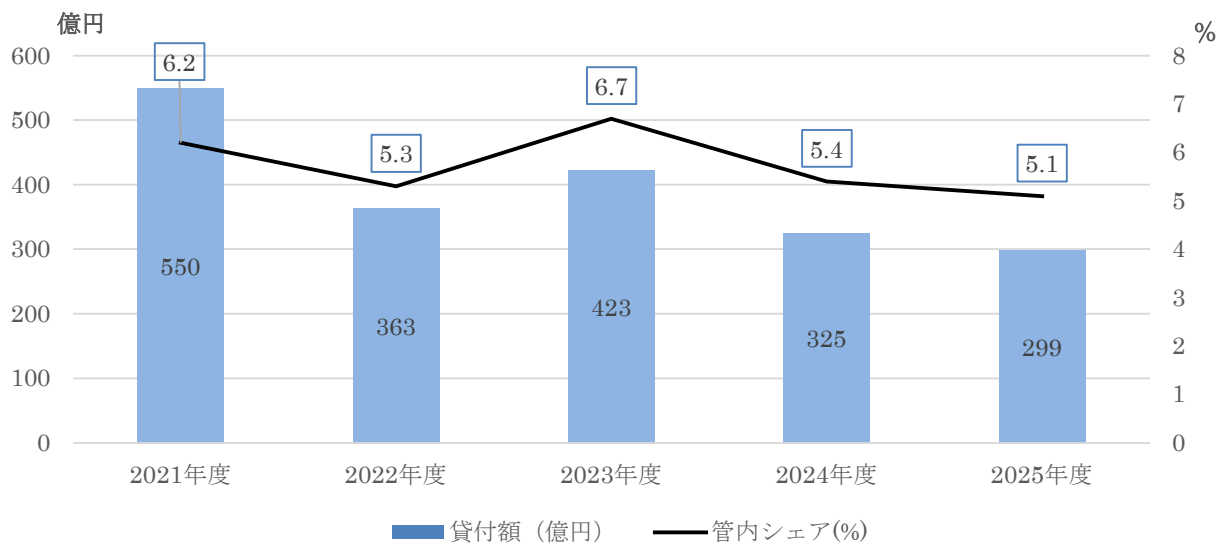
財務省関東財務局前橋財務事務所財務課

T E L （027）896-2908（直通）

1. 令和7（2025）年度貸付額

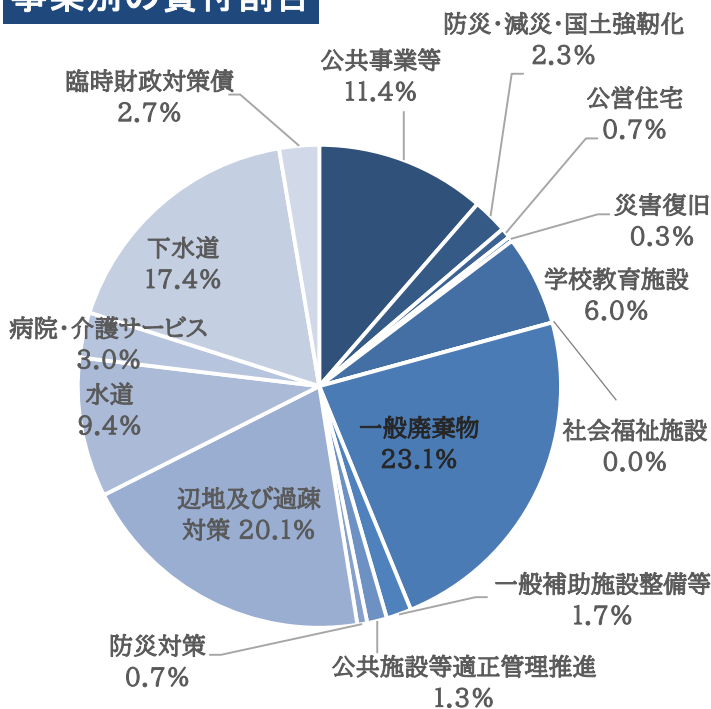
299 億円 前年度比△26 億円 (△8.0%)	「一般廃棄物処理事業」や「過疎対策事業」などが増加した一方、「学校教育施設等整備事業」や「臨時財政対策債」などが減少したことにより、貸付額全体としては減少しています。
--	--

①財政融資資金貸付額



②事業別貸付額

事業別の貸付割合



※単位未満四捨五入のため、合計しても 100%にならない場合がある。

事業区分	(単位：億円)		
	貸付額	貸付額	増減
	2024年度	2025年度	
公共事業等	36	34	△ 2
防災・減災・国土強靱化	13	7	△ 6
公営住宅	4	2	△ 2
災害復旧	—	1	1
学校教育施設	34	18	△ 16
社会福祉施設	0	0	△ 0
一般廃棄物	49	69	20
一般補助施設整備等	4	5	1
公共施設等適正管理推進	0	4	4
防災対策	3	2	△ 1
辺地及び過疎対策	52	60	8
水道	40	28	△ 12
病院・介護サービス	10	9	△ 1
下水道	50	52	2
臨時財政対策債	31	8	△ 23
計	325	299	△ 26

※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

③令和 7（2025）年度貸付事業例

貸付先：館林市

事業名：公共施設等適正管理推進事業

令和 7 年度貸付額：385 百万円（※単位未満四捨五入）

画像提供：館林市



外観



園舎内廊下

<事業概要>

老朽化した幼稚園と保育園を統合し整備された認定こども園。機能の集約化により、効率的な施設運営を図るとともに、教育と保育を一体的に提供し、多様化する保育ニーズに対応しつつ、就学前教育の質の向上を図っている。

貸付先：藤岡市

事業名：一般補助施設整備等事業（高山社跡 母屋兼蚕室 修復工事）

令和 7 年度貸付額：860 万円

画像提供：藤岡市教育委員会文化財保護課



母屋兼蚕室 外観（修復工事前）



母屋兼蚕室 蚕室（修復工事前）

<事業概要>

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産である高山社跡の母屋兼蚕室について、屋根や外壁などの経年劣化が確認されていたことから、令和 3 年度から修復工事を実施。文化財的価値の維持・継承に向け計画的に工事が進められている。

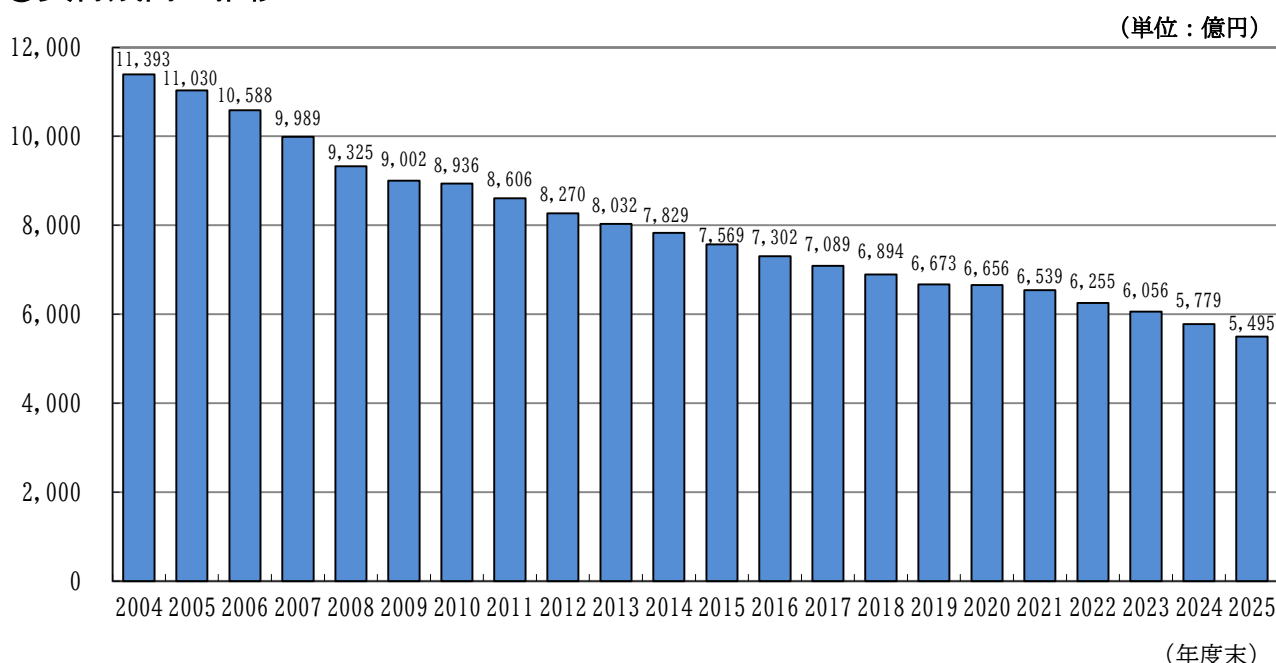
2. 令和7（2025）年度末貸付残高

群馬県内の地方公共団体への貸付残高は、令和7（2025）年度末で5,495億円となり、前年度と比較すると284億円、4.9%の減少となりました。

減少の要因は、約定回収額が新規貸付額を上回ったことによるものです。

なお、貸付残高は、平成16（2004）年度以降逡減しています。財政融資資金は、平成13（2001）年度以降、民間資金を補完するという原則にたち、地方公共団体の資金調達能力と資金使途に着目した貸付を行ってきたことにより、貸付残高は減少しています。

①貸付残高の推移

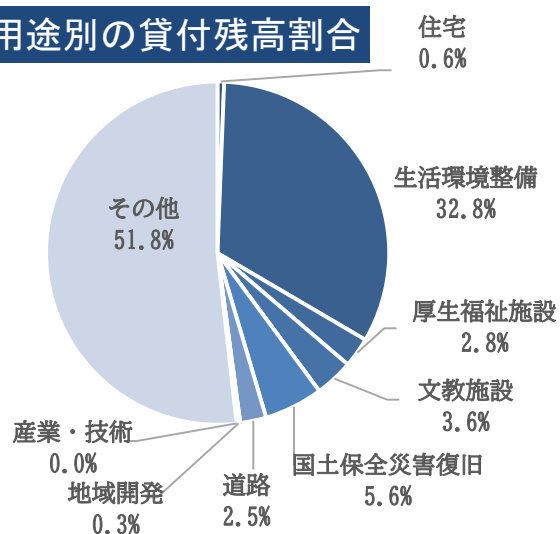


②用途別の貸付残高

(単位：億円)

区分	令和7年度末	備考(主な用途)
住宅	34	公営住宅
生活環境整備	1,804	水道、一般廃棄物処理
厚生福祉施設	155	病院、社会福祉施設
文教施設	199	義務教育施設、高等学校施設
農林漁業	-	農業農村施設
国土保全災害復旧	305	災害復旧、防災対策
道路	135	道路、排水施設
通信運輸	-	港湾、空港
地域開発	17	電気、住宅市街地
産業・技術	2	産業経済施設
その他	2,845	過疎対策、臨時財政対策
計	5,495	

用途別の貸付残高割合



※単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

財政融資資金の活用事例

財政融資資金の目的は、その資金をもって公共の利益の増進に寄与することにあります。

また、財政融資資金は、長期・固定・低利で地方公共団体に融資できるので、財政融資資金を活用することで、低コストで各種の事業が実施できます。

このため、多くの地方公共団体で活用され、生活に必要な公共施設等の整備に役立てられています。

その一部をご紹介します。

サーラ孺恋建設事業（孺恋村）



サーラ孺恋建設事業

群馬県吾妻郡孺恋村（過疎対策事業）

画像提供：孺恋村

事業概要

- 既存施設の老朽化を背景に、地域の芸術・文化活動の拠点整備および防災拠点機能の強化を目的として建設。災害時には避難所として機能する「平常時と非常時を両立する施設」として整備された。
- 事業期間：令和4年度～令和7年度
- 総事業費：約24億円　うち財政融資資金12.8億円

新会館の概要

- ✓ 周辺の自然環境と調和した外観デザインを採用し、開放的なガラス面と端正な建築構成により、地域の交流拠点としての象徴性を備えている。
- ✓ 木材を活用した音響性・視認性に優れた空間であり、コンサート、講演会及び文化公演等、多様な用途に対応可能な多機能ホールとして整備。
- ✓ 可動式の机・椅子を備えた多目的室。研修や会議に加え、災害時には避難スペースとしても活用できる実用性の高い空間としている。



外観



大ホール



多目的室

関東財務局 前橋財務事務所

(注)単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。

管内地方公共団体別の財政融資資金地方資金貸付残高(令和8年3月末現在)

関東財務局 前橋財務事務所

[illegible]

(注)単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合がある。